



議会だより かどがわ



8月から操業する「フォレストエナジーかどがわ」

もくじ

20年度一般会計補正予算……………	2P
第2回臨時議会 ……………	3P
一 般 質 問 ……………	4～9P
活 動 報 告 ……………	9P



平成20年8月
NO. **115**

20年度一般会計補正予算 9,259万1千円可決

6月定例議会

平成20年度第2回定例議会は、6月12日から19日までの8日間開かれました。

今議会において、諸報告7件、補正2件が審議され、それぞれ承認・可決されました。

今回の補正は、一般会計では9,259万1千円を追加し、予算総額を56億9,259万1千円とするものであり、また、老人保健特別会計では6,110万9千円を追加し、予算総額を4億2,193万4千円とするものであります。

6月13日の一般質問では、11名の議員が登壇し、町政運営について論戦を行いました。

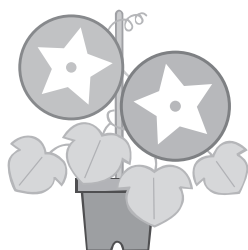


議場（会議中）

※定例会一般質問の際、議員の発言残り時間を表示する電光掲示板を設置しました。

歳入の主な内容

国庫支出金	4,377万7千円
県支出金	516万2千円
繰入金	4,141万2千円
諸収入	140万円



歳出の主な事業

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	4,000万円
新地域水田農業担い手条件整備事業	464万3千円
営農飲雑用水工事実施設計委託事業	700万円
広域水産物供給基盤整備事業	400万円
小学校管理事業	1,034万5千円

推薦

門川町農業委員会委員を推薦

次の2名を議会推薦の委員として決定しました。

金丸 幸子（中山）

横井嘉次郎（庵川東）

意見書

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書
（全会一致で採択）

第2回 臨時議会

去る6月6日に開かれました。

町税条例、国民健康保険税条例、19年度一般会計補正予算の専決について審議し、承認しました。そして、国民健康保険税条例の一部改正について勉強会を経て、可決しました。詳細は次の通りです。

- ①課税については資産割を廃止して、所得割、被保険者均等割、世帯別平等割の3方式の合計額とする。
- ②地方税による町税の総所得金額確定に伴う所得割額の税率、均等割額、及び平等割額を改正する。
- ③保険税額の確定による保険税の減額をそれぞれの項目で改正する。
- ④被保険者1人あたりの課税額を前年度比20%の増額とする。

公害防止協定書を調印

門川町と

フォレストエナジー門川（木質ペレットの製造会社）

去る6月24日に内山田善信町議会議長、竹名地区の中村認区長の立会いのもと、門川町（曾川泉町長）とフォレストエナジー門川（小形明誠社長）の間で、公害防止協定書の調印式が行われました。

協定書の内容は、操業によって発生した産業廃棄物の処理、事故や緊急時の措置、操業によって公害が発生した際の被害の補償、事業所内の緑化などを計画的に実施する環境設備、防災対策など17条の項目が盛り込まれています。



一般質問

11名の議員が登壇

雇用拡大を



米良 昭平

町長..
誘致県事務所を
企業 積極活動
通じ

問

19年には、剪定残渣等を燃料に加工する企業が竹名に進出した。働く場が出来てみんな喜んでいる。

町長

フォレストエナジー

門川の操業開始から生産が軌道に乗るよう努力体制を図る。企業誘致については東京、大阪など各宮崎県事務所を通じて企業訪問し、情報発信や企業立地の情報収集を行う。

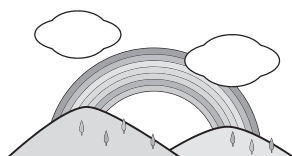
町内企業から要望や意見を収集し、細やかなフォローアップをしていきたい。

問

委託料が5億円を超えている。委託の仕方が複雑。業務委託の在り方を簡潔にしては。西門川活性化センターなどの業務委託を町と直接契約にしては。

町長

町と業務委託者との合意で契約書に業務内容などは明記されている。今後、問題を生じることがあれば契約書の内容などを検討する。



サバのブランド化を

黒木 義秋

町長：安定供給などが課題



問

地元サバのブランド化について、畜養サバが庵川でも行われているが味が好評のようです。大分のブランド関サバは既に名実ともに全国展開されているが、この庵川サバも調査検討して将来ブランド品にする構想はないか。

町長

庵川サバは、一業者で年間4〜5トンで安定供給面など課題が多い。県の認証を取るように体制になつていない。何によりも生産者がブランド化したいという意欲がなければならぬと考える。

問

サザエ・アワビ・生子等の生息区域は休漁区を設定して3〜5年は捕獲しないことによつて稚貝を増やし、安定捕獲を行うことが出来ると思うが町長の考えは。

例えば金磯・安井・ウジ谷・麦バエ・大谷

町長

庵川と門川両漁協においては、唐船バエとか五十鈴川河口一帯を禁漁区に設定して、魚介類の増殖に努めている。

問

全国的に密漁者が多発していると報道されている。なかなかやり方は巧妙、組織的で摘発が難しいようだが、門川でも上記との関連も考えて対策を取る考えはないか。

町長

海上保安署や警察署等で、県北部地区密漁対策協議会を組織し、密漁防止の啓発に取り組んでいる。今後関係機関と連携を図りながら特に悪質な密漁にはしっかりと対応していきたい。



丸バエ川治水・環境対策は



安藤 福松

町長.. 浸水対策を県に要望

問

丸バエ川の治水対策が進まず、雨期には浸水被害等、特に深迫地域の整備が手つかずのままである。どのような検討がされているのか。

町長

満潮時の逆流についての細かい解析調査を関係機関等とも協議しているが、当河川の集水面積全体の調査が必要で相当の費用を要し、その調査結果が深迫地域の因果関係が解明できるとは限らないとのこと、手詰まりの状態であるが、更に強制排水設備等の設置を念頭に県への提言を続ける。

問

丸バエ川は雨期には浸水、渇水期は悪臭等、安全・衛生両面の問題がある。要因は海拔差のない河川であり、衛生面の対策として尾末地域のような生活排水簡易浄化施設の整備等の抜本的な対策が必要と思うが。

町長

丸バエ川は地形的にも落差のない河川で水の流れが悪く、水質の悪化をきたしている。尾末地区にある浄化施設では河川の水量からも難しく、今後の対策として

①合併処理浄化槽の普及を中心に、生活排水対策基本計画を策

定し周辺の家庭排水対策を考えていく。

②他の地域も含め、先進事例の研究に努める。

③河川の堆積土砂対策等を引き続き県へ提言していく。



国道 388 号線の改良について

安田 修



町長：調査費もつき、
今後は道路拡幅工事が進む様予算獲得に努めていく

問

公共工事入札は、低落札等により業者の経営に不安をもたらす因果関係はないか。

町長

指名競争入札を採用し、業者選定する上で施工能力等を審査し指名している。指名された業者は、現場ごとに積算し採算が取れると判断され落札されていると考えている。

問

ガソリン税の復活により、国交省より国道388号線(上町〜小園区間)に、5000万円の調査費が配分された。今後の進捗状況と都市計画道路の見直し等はどうか。

町長

本年度の事業費5000万円は、上町交差点部分の改良工事に対する調査費である。今後は用地交渉とか道路拡幅工事に向けて進んでいくと思われる。

問

るので、次年度も引き続き予算獲得に向けて、国・県に働きかけをしていく。又、今年度から未だに改良されていない都市計画路線については、存続・変更・廃止いずれにするか見直していく。

門川温泉「心の杜」の入浴者に対してのポイント二倍サービスの実施や、洗い場に仕切を設ける等の改善はできないか。

町長

顧客サービスの充実を図るべく現場の声を大切にしなが、利便性を含め経営改善委員会にも聞きながら検討していきたい。



心の杜

エレベーターの代わりに階段昇降機の設置を



黒木 裕

町長：一つの方法論として検討する

問

エレベーター設置場所が耐震診断結果で不確かなので、代わりに階段昇降機を採用しては。

町長

庁舎内エレベーター設置については、別館を含む庁舎全体の構造等の問題を明確にし、その工事内容の精査や費用の見積りを現在行っている。その結果次第で前向きに一つの方法論として検討したい。階段昇降機は建築設備に該当し、建築確認申請は必要だが、内装制限はうけないと聞いている。

問

新規職員を9名採用しているが、町長の選挙公約には「職員の採用を定年退職者数の半数に抑えて人件費の削減を図る」とあるがいかがなものか。

町長

この2年間の退職者数は16名で新規採用者数は12名。「行財政改革構想」並びに「集中改革プラン」に基づいた計画的な採用人員となっている。「保健師」については、まず専門知識を有する資格者の活動の場が増えてきている。たとえば、高齢者の健康維持並びに子育て支援対策の充実を図るとともに



今年の4月より「特定健診」「特定保健指導」の実施が義務付けされた。「建築士」については早急な後継者の育成が必要であるし、「建築士」の資格取得に実務経験が必要なので早め採用した。

道路整備計画は

安田 厚生

町長：早期着工に向けて調整していく



問

平城西区から中山地区に抜ける道路整備計画について、この道路計画は門川町・町民にとって真に必要な道路と思われるが、具体的な計画は。

町長

都市計画道路として、交通機能の非常に高い路線であり、重要路線として位置付け、早期着工に向けて県関係機関との調整をしていく。

問

五十鈴小学校の児童が通う通学路（橋の口町営住宅から梅の木）は道路整備が悪く、事故やケガをする危険性がある。事故などが起こる前に道路整備をする考えは。

町長

平城西区から中山までの路線整備が図られれば、新たな通学路としての機能が充実すると確信している。その間、通学路については、維持修繕に努めていく。

問

観光には今、ホームページの充実が大切と思われる。トップページのリンク集を全面に出して、門川町の商工などを広告掲載するなど農林・商工・観光また、観光ガイドマップなどを掲載する考えは。

町長

情報発信は大事なことと思うが、セキュリティの問題などが発生するため、十分でない状況である。今後は専門家などに相談し検討していく。

問

ふるさと納税制度の推進について、町長自身の考えは。

町長

夏休みなどでふるさと門川に帰られる方や、町外に行っている縁故の方たちにこの制度を知ってもらい、ご協力をお願いして、ふるさと門川の「夢・人・町づくり」に役立たせてもらいたいと考えている。

後期高齢者医療制度は見直しすべきでは



水永 正継

町長：改善すべき点は要望していきたい

問

門川町も高齢者の暮らしと健康を守るためこの制度の見直しや廃止に向けて意志表示すべきではないか。

町長

これまで2年間に莫大な費用をかけて、この制度のスタートを準備してきたところである。「後期高齢者医療制度」を廃止しようという議論については、いささかおかしいと感じている。政府与党の見直し策も含めて、見直しすべきところは見直していくことを提言していきたい。

問

門川神社裏手の町有地が大雨等のため崩落し、門川神社本殿に影響があると思われるが崩落を食い止めるべきではないか。

町長

崩落対策の要望が出されているので、現地調査の結果、崩落を防止するための山腹工事が必要であることが分かった。まわりが町の公園になっているので、公共施設に被害を与える観点からも県の単独補助治山事業で工事を要望している。

問

上町商店街の街灯について、営業をしているいない商店の街灯は町補助対象の防犯灯にできないか。

町長

営業をしていない商店の街灯については、河川管理者である日向土木事務所とも協議し、安全対策を打っていききたい。

問

店の街灯については、上町区が防犯灯として必要であるということであれば、町補助対象の防犯灯として取り扱いたい。

町長

小園の元遊泳場のこわれたトイレと駐車場の景観上からも安全上からも地元の人たちが心配しているが対策は。

子育て支援については

安田 茂明

町長：適正な保育士の配置に努める



問

現在、日本は少子化に歯止めがかからず、人口減が地域社会や経済活動への影響が心配されている。本町においては少子化対策について、いち早く取り組んでいるが、次の3点についてお尋ねしたい。

町長

町内企業で育児休暇など子育て支援の処置がなされているか。

問

本町の企業・事業所については、従業員数の多い企業の多くに育児休業制度が設けられている状況である。県においては各市町村と協力しながら「仕事と家庭の両立応援宣言」企業・事業所の募集を行ない「働きやすい職場づくり」に、本町でも取り組み、子育て支援に繋げていきたい。

町長

だと思うが、どのようなと考えているのか。

問

保育所・保育園では、児童福祉法に定めるところによる、児童福祉施設最低基準に基づき保育士を配置している。大事なお子さんを預かる大変な業務である。保護者が安心して働けるよう、適正な保育士の配置に努めていきたい。

町長

子育て支援について全庁的に取り組む為に支援本部を設置した。若い職員を中心とした幹事会を設置し、子育て中の方が気軽に集える子育て支援の核となる施設の設置についてをテーマの一つとして検討している。

0歳児等に対しては現在預かりしているが、1人の保育士が3名を見ているが、大変

西門川総合活性化センターの運営計画は

神崎 千香子



町長：地域の活性化・交流・生活向上を図る場

問

西門川児童館の今後の計画は。

町長

小中学校のあり方、児童数の推移等、地元と話し合い、廃止も検討。

問

上井野の町営住宅は。

町長

近々解体したい。

問

活性化センターで働く職員の業務内容と雇用条件は。

町長

西門川活性化センター管理業務は、社会福祉協議会と働く職員の雇用契約なので、当方からお答えする立場

ではない。

問

まず、最初にお互いの行政の仕事をきちっと捉えなくてはならない。5月、埼玉地裁の判決は、委託先の市プールでの少女の事故死に「プールの維持管理を業者まかせにし、負うべき業務を怠った職の自覚を欠く全く無責任。」として、市の元課長と係長が有罪になっている。そういうことを踏まえて活性化センターの職員の仕事を、いきなり「辞令」として取り上げるのは、労基法2条に触れるのではないかと。

町長

話し合いで決めたこと聞いている。

問

18年度活性化センター委託決算60万円のの中から、2万円が社会福祉協議会の運営費に、残り26万円は、西門川児童クラブ夏休み等の代替賃金との説明だが、目的外使用ではないか。

町長

活性化センター管理費の使い道は説明を受け納得している。

問

私の調査では、西門川夏休み等代替賃金は1万8千円しか使っていない。児童クラブ費全体でも約100万円違う。きちつと調査が必要と思うが。

町長

26万円は代替職員分と本人賃金106万円分。調査は必要ない。

町道松瀬・川水流線の改良計画は

猪倉 照央

町長：平成22年度からの着手を目指す



問

国道388号庭谷・美郷町黒木間の改良計画は。

町長

新規工区設定に向けて要望しているが、今の段階では路線設定も決まっていなくて、直ぐには着手できない現状である。

問

補助を受けない農道や農業用排水路など、入札するまでもない軽微な補修等を地区民、関係集団等を対象に必要とする資材を支給し、関係住民がすべて行う「資材支給事業（仮称）」を行ってはどうか。

町長

産業文化振興補助金交付規則に従い地元要望により実施している。昨年の災害においても当補助金及び重機リース補助等の活用により地元施工で行った。

問

住民の半数以上が女性で占められ、女性の社会的地位は年々向上し、男女雇用機会均等法の成立によってこれからの職場進出、職場での地位向上が期待されている。そこで「町の行政を学ぶ」婦人対象の自治講座を開設してはどうか。

町長

本町には地域婦人部など5つの婦人団体があり、各種研修会、生涯学習講座等に参加され活動を行っている。私も機会あるごとに総会等に出席して話をしており、研修等の申し出があれば前向きに検討して参りたい。



松瀬・川水流線

町人口の減少の今後の対策は



小林 芳彦

町長…子育て支援、産業の振興に力を入れていく

問

門川町の人口は1万9千人から1万8千人台に減ってきているが、今後の町づくり上で重要な問題と思うが今後の対策は。

町長

若年層の減少傾向に注目し、対策を講じる必要があると考え、昨年「子育て支援本部」を立ち上げ、門川町が子どもを生み、育てやすい、また、門川町に住みたい、学校に入りたいと思える町にしたいと考えている。またもう一つ重要なことは、地域産業の振興による雇用の確保と圏域の産業の振興によって、労働人口を増やし、

問

若者の雇用を創出して子育て支援と併せて若者の定住化を促進されると思う。

門川町の合併問題は、小康状態にある中、現在も道州制の行方や広い論議が必要という考えなのか。

町長

これまで日向市を相手として議論だったが、道州制議論だけでなく情勢の変化に対応するためにも、みんなが勉強・議論する機会が必要である。今後県とも相談しながらそういう機会を作りたいと考えている。



東臼杵郡町村議会議員研修会
7月2日(水) 午後1時30分～(門川町クリエイティブセンター)



門川町消防線法大会
7月13日(日) 午前7時30分～海浜総合公園内中央広場



東九州自動車道・九州横断自動車道延岡線建設促進総決起大会
7月14日(月) 午後1時30分～延岡総合文化センター



九州横断自動車道延岡線建設促進沿線協議会協議会総会並びに決起大会
7月17日(木) 午後1時30分～熊本県御船町カルチャーセンター

活動報告



7月15日一斉休漁（門川漁港）



子どもたちを待つウォータースライダー



ライフセイビングの勉強会



乙島の清掃活動



着々と進む東九州自動車道

議会広報編集特別委員会
委員長 黒木 裕
副委員長 水永正継
委員 安田厚生
委員 千草力生

6月議会では、色々な要望を問う一般質問が11名の議員から出され、活発な議論が交わされました。
さあ、夏本番です。暑さ対策として、適度な水分の補給、暴飲暴食は避け、睡眠をしっかりとることを心がけたいものです。

暑中御見舞い
申し上げます。
(議員一同)

編集後記